

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 282



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
【書名の後の () の数字は (請求記号 保管場所 資料番号) です。】

問) ^{おきなわ}沖縄が大きな被害を受けた、昭和19年(1944)10月10日の「^{ひがい}十・十空襲(沖縄大空襲)」に関する資料はあるか。

答) 図書室内にある^{けんさくたんまつ}検索端末では、所蔵資料を検索することができます。「なんでも検索」にキーワードを入れると、タイトルや編著者名だけでなく、目次からも検索することができます。検索端末でキーワード検索を試みましょう。

なんでも検索 ⇒ 十・十空襲 ⇒ 63件ヒット

ヒットした件数が多いので、手軽に読むことができる「^{かいが}開架」にあるかどうか、画面上部の「場所」にチェックを入れて^{しぼこ}絞り込みましょう。3件ヒットしました。

資料の種類: 図書 雑誌 地図・海図 場所: 開架 閉架

開架とは、閲覧室にある書棚のことです。
閉架は書庫を指します。

『語りつごう 沖縄 3』(219.9/A49/3 開架児童書 000064489)

『ひめゆり 予科一年生』(289/Ka37 開架一般 000043716)

いちばん空襲の被害が大きかった^{なは}那覇の記録を調べるため、次はキーワードを追加してみましょう。以下は「閉架」のみチェックボックスを入れます。

絞り込み検索 ⇒ ことばで絞り込む ⇒ 那覇 ⇒ 27件ヒット

並べ替え: 出版年月順

並べ替え機能を選択し、検索結果一覧を並び替えることができます。

『沖縄の慟哭』(219.9/N25 閉架一般 000058428)

『写真集 沖縄戦』(219.9/O81 閉架大型1 000063075)

『忘れられぬ体験 第1集』(916/N27/1 閉架一般 000066774)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



サンマでよみがえる昭和の思い出

猛暑だった夏季と比べ、最近では気候が落ち着き秋の気配を感じるようになってきました。9、10月は稲や野菜、果物の収穫時期を迎えます。また、産卵前などで脂が乗っている青魚が多く漁獲されます。特に旬の魚としてサンマを思い浮かべる方も多いかもしれません。

サンマ漁は江戸時代後期にはまき網漁業が盛んに行われていたそうです。複数の船で扇形の網を投げ入れて魚群を囲い込む漁法です。明治時代には海面に浮き、海底におもりを付けた網を張って魚を巻き上げる刺網漁が広まり、昭和12年頃には棒受網漁が始まりました。これは夜間に明かりを用いて海面を照らすことで集まった魚を網ですく取る漁法です。しかし、戦時中は灯火管制によって禁じられていたようで当時は普及には至らず、戦後急速に全国へ広まりました。

江戸時代から親しまれてきたサンマは「目黒のさんま」という古典落語にも登場します。ある殿様が目黒へ出かけた際に弁当を忘れたところ、農家の軒先でサンマを焼く匂いが漂ってきます。当時、サンマは庶民が食べる魚とされていましたが、空腹に耐えかねた殿様は初めてサンマを食べます。そのおいしさが忘れられず、殿様は再び食事に出すように命じますが、食べたサンマはおいしくありません。日本橋の魚河岸で求めたことがわかると「それはいかん。サンマは目黒に限る」と言ったというオチです。

市井の人々の暮らしを知らない殿様を表現した創作の物語ですが、空腹の中で漂うサンマを焼く匂いとその味は格別なのではないでしょうか。「目黒のさんま」に登場する日本橋魚市場は、大正12年(1923)に関東大震災により築地に臨時移転します。同年に生まれた小説家の池波正太郎は、随筆の中でサンマについて次のように綴っています。

「むかしは安くて旨い、この魚が私たちの家の初秋の食膳には一日置きに出たもので、夕暮れとなって、子供だった私たちが遊びから帰って来ると、家々の路地には秋刀魚を焼く煙りがながれ、旨そうなおいが路地にたちこめている。」

昭和16年(1945)、太平洋戦争の開戦によって日本近海の漁船の操業は制約を受けます。また、漁業者の徴兵や漁船の徴発に伴い漁獲量は減少しました。統制により家庭への配給が滞り、市場に入荷されたことがなかったカジカが配給されることもありました。

最後に、昭和19年(1944)9月に東京都から宮城県に学童疎開をした男性の体験談を紹介します。疎開のため駅へ向かう直前、父親が七輪でサンマを焼き始めました。

「団扇で扇ぐ、立ち昇る煙、焼き上がった秋刀魚を皿にのせ、尻尾の近くに、大根おろしをたっぷりとのせ、醤油をかけました。(中略)その父も半年後の三月十日の大空襲で兄二人と共に尊い命をなくしました。父との最後の晩餐は秋刀魚でした。あのおいしい味は父の味です。」

【参考文献】

『現代日本産業発達史 19』602/G34/19 地下書庫和図書 000048326

『味と映画の歳時記』914/I34 地下書庫和図書 080007487

『東京魚商業協同組合のあゆみ』E671/To46 地下書庫江波戸図書 080005214

『広報めぐろ 下巻(昭和37年4月～昭和47年3月)』縮刷版』E213.6/To46/2 地下書庫江波戸図書 080003757

『学童疎開の記録 2』372.1/Z3/2 開架大型 000019734

(※旧仮名遣いを新仮名遣いに改め、旧漢字を新漢字に改めました)



ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 282

2024年10月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1